

「宇治田原町地区連絡会議の取組状況」

京都府 宇治田原町農業委員会 宇治田原町地区連絡会議

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員：	14人
○ 農地利用最適化推進委員：	9人
○ 事務局職員：	3人
○ 市町村行政との連携状況：	町農政担当と事務局は兼務で業務にあっており、町農政と委員会の状況を踏まえて随時連携している。

2 地区の特徴、状況、課題

- 宇治田原町は京都府の東南部に位置し、11集落から構成されている。
- 森林が約77%を占め、山間谷間に挟小な耕地が散在し、谷間集落を形成する農山村となっている。
- 「日本緑茶発祥の地」として茶業が大変盛んであるが、夏秋キュウリ、みず菜、椎茸、古老柿等も本町の特産である。

3 委員による継続した話し合いの取組内容

- 令和2年7月に新体制に移行し、旧村ごとの地域会議の活動を進めるべく、京都府農業会議からも講師として、講演をいただくなど、京力農場プランの実現に向けて各委員の意識・行動を向上させていくため、定例会議後に全体会議を設け、本町での各地域での取組状況の共有を図っています。
- 各地域ごとの特性がある中、他地域の状況等も参考に、各地域での荒廃農地解消、担い手への利用集積に少しでも繋がるように、地域内外の連携強化に努めています。

4 成果（京力農場プランの目標実現に向けた取組内容）

- 各地域における取組状況等の情報共有を進める中で、集落が異なる委員間での情報交換も従前より活性化された。
- 上記の委員間での情報共有がきっかけとなり、地区を越えて新規就農者への利用集積に繋がる事例も出てくるなど、一定の成果が出ている状況。

